

利益共有型インターンシップ（企業型）

前期集中講義 4単位 担当：経済学部 高見博之 htakami@oita-u.ac.jp

【授業の概要】

文理融合的な学生のグループが、大分県の経済がより活性化するように地域の資源を活かし、大分県内で消費活動をする来訪者や居住者を増加させるしくみを企画することを通じて、自分自身の成長を実感し、地域の活性化に貢献しようとする意欲を高めるとともに、将来の社会人としての基本的な能力をつけることをめざします。

【具体的な到達目標】

- 目標 1 取引の決済方法に関わる地域資源の魅力・価値を指摘できる。(DP 1)
- 目標 2 複数の視点から取引の決済手段の企画を検討することができる。(DP 3)
- 目標 3 教養教育や学部教育で学んだ知識・技能を活用して他者と協働できる。(DP 2)
- 目標 4 課題に対して主体的に関わることができる。(DP 6)
- 目標 5 作成した企画を聞き手に分かりやすく説明できる。(DP 2)

【授業の内容】

- 1 授業ガイダンス
- 2 キャッシュレス決済など決済方法の選択についての考え方を学ぶ
(経済学、マーケティング、経営戦略の観点など)
- 3 インターンシップ先の企業の業務内容
- 4 取引の決済方法についての情報収集
- 5 大分県内での取引の決済の事例の検討
- 6 地域活性化等に成功する要因の検討
- 7 調査・情報収集をした取引の決済方法についての評価
- 8 取引の決済方法についての企画の作成
- 9 報告会
- 10 振り返り
- 11 夏休み後半以降の延べ 10 日間程度の企業でのインターンシップを通じて、以上の内容についてグループワークを中心に課題解決型の授業を行ないます。

【アクティブラーニングの具体的な内容】

- | | | |
|------------|---|---------------------|
| A.知識の定着・確認 | ○ | 企業とともに取り組む文理融合的な複数学 |
| B.意見の表現・交換 | ○ | 部の学生によるグループワークにより、多 |
| C.応用志向 | ○ | 様な視点で課題に取り組みます。 |
| D.知識の活用・創造 | ○ | |

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修 キャッシュレス決済など決済方法についての情報収集（20h）

事後学修 講義内容や配布プリントの復習を通じ，課題の完成度を高める（20h）。

【教科書】教科書は使用しません。適宜プリントを配布します。

【参考書】講義中に随時提示します。

【成績評価の方法及び評価割合】

評価方法 評価割合		目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5
平常点（中間報告など）	60%	○	○	○	○	○
最終報告	30%	○	○	○	○	○
最終レポート課題	10%	○			○	○

授業への取組状況，企画したしくみや報告内容の完成度についてインターンシップ先の企業による評価を含め、総合的に評価します。

【注意事項】

- ・ 学生教育研究災害傷害保険(学研災)，学研災付帯賠償責任保険(学研賠)への加入が必要です。
- ・ 夏休みを中心とした授業ですが，単位認定は後学期となります。

【備考】 授業内容の都合上，受講者を 10 名程度 に限定します。